

3. お年寄りや障がいがある方が活躍できる場や居場所をつくる

() 内は前年度当初予算

(1) 高齢者の生きがいと健康づくりの推進

1 億 662 万円 (1 億 647 万円)

高齢者が健康で生き生きと活躍できる社会づくりを進めるため、「高齢者生きがいづくり応援窓口」において、各種セミナー、イベント等の情報発信や出張相談を行うとともに、老人クラブが実施する生きがい・健康づくり活動などを支援。

(2) 障がい者の文化芸術・パラスポーツの推進

2,007 万円 (1,007 万円)

障がいのある方もない方も同じ表現の場で作品を展示する「ノーボーダーアート展」の開催や、パラスポーツの岐阜県大会や体験教室の開催などにより、障がい者の社会参加を推進。

(3) 障がい者の就労・職場定着の支援

1 億 4,797 万円 (1 億 5,876 万円)

障がい者の就労と職場への定着を支援するため、農福連携による農産物生産などの実践をアドバイスする専門人材の育成や、マルシェの開催、障がい者雇用企業支援センターにおける企業への助言などを実施。

(4) 医療的ケア児等への支援の充実

7,699 万円 (7,510 万円)

医療的ケアを必要とする特別支援学校の児童生徒に対する看護師の派遣について、日中の校外学習や校外行事に加え、宿泊学習、修学旅行などに拡充。また、医療的ケア児等の家族の負担軽減のため、相談対応や家族交流会の開催などを行う支援センターを運営するとともに、レスパイトサービスの拡充などを促進。

(5) 社会福祉施設の安全性・利便性の向上

28 億 7,908 万円 (18 億 2,646 万円)

高齢者や障がいのある方が過ごす社会福祉施設の生活環境を維持・改善するため、老朽化が進む施設の改修を実施するとともに、利便性向上などに向けた施設の整備を促進。

○今後検討を進める施策

- 高齢者や障がいのある方が働ける機会を持てるよう企業において業務を細分化する取組み（マイクロワーク化）を推奨し、こうした業務を紹介する情報提供の仕組みを構築する。
- 高齢者や障がいのある方が農業に参加できる環境や仕組み（アグリパーク）を整備し、居場所と共に収入を得られる場を作る。
- 市町村と協力し、地域の清掃や見守り、教育や文化の伝承、情報の発信等、地域社会を維持するための取組みを提案・募集し、高齢者や障がいのある方の活躍の場を生み出す。
- 喫茶組合の協力の下、高齢者がモーニングに通うことによって健康を維持する取組み「岐阜モーニングプロジェクト」を推進する。
- 障がいのある子どもたちが「親亡き後」も安心して暮らせる総合的なケア・サポートシステムの開発・導入を行う。
- 安心して屋外を徘徊できる地域環境、介護環境を整備する。